

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)辻堂第二計画新築工事	階数	地上29F
建設地	藤沢市辻堂1丁目1589-1,3~34,1590-1,9,11,12(計37筆)	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	500 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,集合住宅,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2022年3月15日
敷地面積	2,312 m <sup>2</sup>	作成者	(株)フィールド・デザイン・アーキテツクス級建築士事務所
建築面積	1,286 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	24,559 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ BEE=1.0: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境 (スコア 3.2)  
Q2 サービス性能 (スコア 3.1)  
Q3 室外環境 (敷地内) (スコア 2.3)  
LR1 エネルギー (スコア 4.0)  
LR2 資源・マテリアル (スコア 3.0)  
LR3 敷地外環境 (スコア 3.0)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境 (スコア=3.2)

#### Q2 サービス性能 (スコア=3.1)

#### Q3 室外環境 (敷地内) (スコア=2.3)

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー (スコア=4.0)

#### LR2 資源・マテリアル (スコア=3.0)

#### LR3 敷地外環境 (スコア=3.0)

3 設計上の配慮事項		
総合	辻堂駅から徒歩3分の、商業地域にRC造・29Fの複合用途の共同住宅(1R~4R及び1LDK~3LDK合計200戸)を計画した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	Q2 サービス性能 Gbitクラスを採用、高度情報通信設備対応としている。
LR1 エネルギー	LED照明設備を導入している。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR2 資源・マテリアル	壁・天井共にLGS下地を採用し、再利用可能向上への取組に配慮した。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐輪場、駐車場を確保、荷捌き用車両の駐車施設も確保し、交通負荷抑制に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される